

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 5

H28. 7.22



今月のキーワード

学びをつなぐ

7月までに多くの小・中学校で英語の授業参観をさせていただき、ありがとうございました。小・中を交互に訪問する中で、気付いたこと、考えたことをまとめてみました。

Do you ---? Yes, I do. / No, I don't. を使った活動を再考しよう！

小学校では Hi friends!1 の Lesson4 で、また中学校では Program 3 で学習する内容です。先日、小・中学校を訪問した際に、偶然どちらも Do you~? の言語材料を使った活動をされており、改めて学びをつなぐことの必要性、重要性を考えさせられました。

特に中学校においては、教師が「小学校で生徒が学習してきたこと」を理解しておくこと、そして「小学校で学習してきたこと **+1**」をどのように工夫するか、が授業の鍵だと感じました。

「小学校と同じ学習内容だけでは物足りない」「難しすぎて分からない」という複雑な心理状態が、中学1年の入門期です。

+1 とは具体的にどのような内容でしょうか。

「子ども自身の気付き」という点から、以下に何点か挙げてみました。

言語活動をする前に、教師が全て説明してしまっは、

子どもの気付きを奪ってしまうことにもなり兼ねないので、

注意しましょう。



気付き **+1** の例

- *sushi* とか *manga* は 最後に *s* が付いていないぞ！

教科書本文には複数形 *s* の付かない名詞が扱われています。小学校で **Do you like apples?** という音に慣れている子ども達は、不思議に思うはずです。

- *watch* の意味は「みる」と辞書に書いてあったけれど、*see* との違いは何だろう。

小学校で *can* の学習の際に、3ヒントクイズ等で “**I can see ~.**” を使った活動をしていると、*see* の方がインプットされているはずです。

- スポーツをするという場合に、全て *play* という単語が使われるわけじゃないんだ・・

教科書では *play* を扱っています。ALT との会話を聞かせる中でインプットしたり、生徒が自分の言いたいことを表現する活動を通して、「**practice kendo** と言うんだ」と 気付く場面を設定したりすることが大切です。

「間違えながら覚えていこう！」という教師のスタンスを大切にしましょう！



国分寺西小学校での外国語活動 活動紹介

7月8日（金）国分寺西小学校全学年で外国語活動が実施されました。

Let's make the original flag. と題して、全児童縦割り班で協力しながら、班の名前にちなんだオリジナルの旗を作りました

言語材料 「色」「形」 主な表現 **How many ~? What color? What shape?**

児童は欲しい形のカードをお店（ALT）から集める際に、単語やジェスチャーを使いながら、積極的にコミュニケーションをとることができました。



- 活動の説明は、国分寺西小の先生方がデモンストレーションを行いました。先生方がALTと英語でやりとりをする場面では、児童の「頑張っ〜」という眼差しと掛け声が印象的でした。
- みんなで何かをやり遂げる（旗を作る）という活動の見通しや目標が明確でした。
- 運動会でこの旗を使用できる点からも、他の学校行事との関連が図られた活動になりました。

授業後の英語研修にて

外国語活動の授業後、英語研修を行いました。本時の言語材料「色」「形」を使った授業アイデアをALTとともに申し合いました。

- 色おに (touch ~) 教室にある 色 (color) 形 (shape) に触る活動
- 国旗クイズ 国旗の色から連想できる国を当てる活動
- 道路標識クイズ 色や形、数字などからヒントを出して
- 色クイズ **blue + red = What color?**
- 折り紙 **square / triangle / diamond** などの形を作る

※ 社会科や生活科・図画工作科等との関連を図った様々な活動がありました。

***** ☕ 国分寺西小 活動の様子 ☕ *****

